

# 山中だより

山中  
キャッチ  
フレーズ  
してもらおう  
させられる人から  
する人へ

枚方市立山田中学校 学校通信 第13号

発行 令和2年8月28日 校長 交久瀬善浩

## ◆◆8月26日（水）、生徒総会が行われました。◆◆

例年だと全生徒が体育館に入って、生徒会執行部と各専門委員長等が前席に並び議案を進行するという形で実施されるのですが、今年度はコロナ対策の為に放送による生徒総会となりました。初めての放送による生徒総会ということでもうまいくか心配していたのですが、執行部も各専門委員長（学級代議員含む）も一生懸命取り組み、各教室でのICTを利用した方針や質問等の画像表示も上手くいって、むしろ体育館で実施するよりも一人ひとりが集中できたのではと思うほどでした。



代議員が各クラスで話し合っって提出した質問や要求等もいろいろあって、学校として前向きに考えていくこともたくさんありました。学校予算の関係もあり、すぐには実現できないこともあります、一つずつ可能な方向を見定めながら実現していければと考えています。

生徒の一人ひとりが学校そして学校生活を良くしていこうと考え、いろいろ議論し、どうやって課題を解決するか考え、学校に対して要求すること、あるいは自分たちで協力すれば解決を図れること等々を生徒全員で共有すること、そして一人ひとりが努力するとともに学年を超えて互いに協力し合っって学校の課題を解決していくことは、今後みなさんが大人となって社会に出会ったとき絶対的に必要な経験となるはず。そのことをしっかりと心にとどめて、今回生徒総会に出された案件について、自分には何ができるのか考え、それを実行してほしいと思います。必ず将来役立つ力があなたの中に育つはず。 「自分に何ができるのか」「それをどうやって実行するか」を考えることが特に重要です。「誰かがやってくれるから自分はいいや」は、「してもらおう人」「させられる人」に繋がります。くれぐれもそちらの方向に進まないように自覚を高めてください。



## ◆◆校務員の増田さんに感謝の気持ちを！◆◆

今年度4月から山田中学校に赴任された校務員の増田さん。みなさん、顔を名前はもう覚えましたか。おそらく教室棟のあちこちで修理等の作業をしてくださっているので、見かけて知っていると思います。

3月までいてくださった校務員の土居さんは期間も長かったので2・3年生の人は覚えていると思います。土居さんも校舎や花づくりなど、学校の安全を守り、学校美化、豊かな学校環境づくりに力を尽くしてくださいました。

そして、この4月に来られた増田さん。増田さんも土居さん以上に毎日学校を回り、破損や危険がないか確認し、トイレ修理からドア代わりの暖簾設置、廊下の補修工事、電気機器の補修、理科室等の特別教室の整備補修、中庭等の木々の剪定から芝生等の草刈り、花づくり、学校美化等々、（裏面に続く）



挙げれば切りのない多くの仕事を日々行い、みなさんの学校生活の安全を確保し学校環境を豊かにしてくださっています。この記事を書いている今日も、表面の写真のように管理棟の階段の照明機器の修理をしてくださっていました。階段途中の危険な場所に脚立を立てての作業で、技術を持った人にしかできない作業です。



校務員さんは各学校に一人しか配置されていない職種で、何もかも一人で考え、計画をたて、実施しないといけないので、色んな技術と幅広い知識と経験を必要とする本当に大変な仕事なんです。

みなさんのなかには、してもらえて当たり前のように思っている人もいるかもしれませんが、とんでもないことです。増田さんのようにいろんな技術を持っていて、何でもできて、しかも日々学校施設等に目を配って奮闘して下さる校務員さんは、他にはなかなかいらっしやらず、枚方市でもピカーの存在なんです。

ですから、みなさんも増田さんを見かけたら、みなさんにも出来る作業であれば手伝ったり、作業がしやすいように協力してください。また、手伝うことができなくても「ありがとうございます」の感謝の気持ちを言葉や行動で伝えるようにしましょう。

### ◆◆3年生は、実力テストの1回目を実施◆◆

本日28日(金)、3年生は実力テストの1回目を行いました。出来具合はどうでしたか?テスト範囲が決まっていないテストを受けるのが初めてという人もいたと思います。テスト範囲が決まっていないとどう勉強していいかわからず、結果的に何も勉強せずに受けた人もいるかもしれません。でも高校入試は間もなくやってきます。勉強せずに入試に臨むなんて怖くてできないでしょう。でも、入試は避けて通れない…。

では「どうやったらいいんですか。」と問う人がいるかもしれません。あるいは、「テスト範囲が決まってないテストの勉強の仕方を教えてもらってないからできません。」という人もいるかもしれません。

このこと、あなたはどう思いますか?

もし賛同する人がいるとしたら、それは「してもらってさせられる人」です。実力テストに向けた勉強を、「誰かにこうしたらいいと教えてもらってやった人」あるいは「強制的に誰かにこのようにしなさいと言われてやった人」、確かに勉強した範囲の知識はついたと思います。テストもある程度できたでしょう。でも、それでは将来本当に役立つ力はつきにくいです。



将来必要な力をあなた自身の中に育てるには、そのテスト範囲が決まっていないテスト勉強の仕方を、あなた自身の力で考えることが必要です。どう勉強するのかを考え、自身で試すことです。試してみてもうまくいかなければ、どこが駄目だったのか見極め、それをどうすればよくなるか考え、改善し、自分に適した学習の仕方を編み出し、身につけていく。それこそが、将来本当に必要な力を育てることに繋がるのです。

実力テストは、あと2回あります。そのあと2月に私立高校(一部の公立高校も)、3月に公立高校の入試と続きます。テスト勉強をどうするか。自分に適した勉強方法を確立すること。まだ時間はあります。自分に適した勉強方法は、自分自身でしか見つけることはできません。本気で取り組んでみてください。そして「する人」になっていってください。

1・2年生の皆さんも、上の話しは3年生だけのことと思わないでください。1月13日には、大阪府のチャレンジテストがあります。当然、テスト範囲は決まっています。今までに習ってきたところすべてがテスト範囲です。学年の最終の成績に大きく影響するテストですから、今から自分に適した勉強方法を見つけ、テスト範囲のないテストに向けた自分の勉強方法を確立していってください。